

(様式1)

校種	小・中	学校番号	60	学校名	宇都宮市立上河内東小学校
----	-----	------	----	-----	--------------

令和8年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、「心の教育」の充実を図り、社会の変化に対応できる徳・体・知の調和のとれた、心身ともに健康で創造力に富む、人間性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

【目指す児童像】

仲よく助け合う子（やさしく）
がまん強くやりぬく子（つよく）
よく考え進んで学ぶ子（かしこく）



【今年度重点合言葉】

自ら元気に、あいさつ、返事

【目指す学校像】

楽しく いきいきとした学校 やさしさのあふれる学校

【目指す教職員像】

子どもを愛し、信頼され、子どもと保護者の願いに応える教師
教師の使命と責任を自覚し、資質・能力の向上に努め、変化に対応しながら自己の持ち味を生かす教師
明朗で心身ともに健康な教師
協働・同僚性を大切にする教師

2 学校経営の理念

児童一人一人が意欲をもって精一杯活躍し、達成感や満足感を十分に感じながら豊かな人間力を磨くことができる魅力ある学校を全職員で創造していくとともに、保護者や地域の協働のもと、学校の教育力の活性化を図る。

3 学校経営の方針

人間力の基盤となる「豊かな心」「健康な体」「確かな学力」を育成するために

- (1) 豊かな環境、保護者や地域の教育力や全職員の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進し、魅力ある学校づくり、持続可能な学校づくりを目指す。 (地域との連携)
- (2) コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係を構築する。 (豊かな心の育成)
思いやりの心や規範意識を高め、人とよりよくかかわりながら活動する環境づくりを行う。
- (3) 自ら健康・安全を考え実践する能力を育成する。 (健康・安全教育の推進)
・生涯にわたって健康・安全な生活ができるよう、積極的に体づくりや食育を推進する。
- (4) 確かな学力の向上を図る。 (学力の向上)

- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業の工夫・改善を重ねることにより、基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育む学びに向かう集団作りに努める。
- (5) 特別支援教育を踏まえた児童理解や学級経営に努める。 (個に応じた支援)
- (6) 小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した教育活動の実践に努める。 (小中一貫教育)

〔上河内地域学校園教育ビジョン〕
かしこく、たくましいゆずっ子の育成
 ～基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

- (7) 教育公務員としての使命を自覚し、協働性・同僚性を大切にしながら教職員としての資質・能力の向上を図るとともに、勤務時間を意識した業務改善を推進する。
 (教職員の資質・能力の向上)
- (8) 業務量管理・健康確保措置の実施
 教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務し、質の高い教育を行うため下記の目標を掲げ、働き方改革を推進する。

- 【目標】**
- 1 教員の時間外在校等時間を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。(令和14年度末)
 - 2 児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合90%を目指す。(令和14年度末)
 - 3 時間外在校等時間が1か月80時間を超える教職員の人数0人を目指す。(令和9年度末)

4 教育課程編成の方針

- (1) 各教科(特別の教科道徳を含む)、外国語活動、特別活動、総合的な学習の時間の教育課程表及び年間指導計画を編成するにあたっては、日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校新学習指導要領・栃木県教育委員会の指導指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところを踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、特色ある教育課程を編成する。
- (2) 「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和8年度指導の重点」における目標を具現化し、豊かな人間力を磨くために、目指す児童の姿とそれを実現するための学校教育のあり方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。
- (3) 「小中一貫教育」の趣旨を理解するとともに、地域学校園内で連携を図りながら、地域の実情や学校の実態を踏まえた教育課程が編成できるように配慮する。
- (4) 学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や努力点・学校課題などを踏まえ、前年度の学校マネジメントの評価・教育課程実施の反省(学校自己評価)・児童や地域の実態を十分に考慮して編成する。
- (5) 小学校学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育活動全般にわたって徳・体・知の調和のとれた、思いやりあふれる豊かな心と自ら学び自ら考える「生きる力」を育むことを目指して「主体的・対話的で深い学び」が実現できる編成を行う。
- (6) 児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、人権感覚の

涵養を図りながら、異年齢集団による交流活動や教師と児童による主体的活動の推進と、意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- ・粘り強さと自己調整力を兼ね備えた豊かな心と確かな学力の調和のとれた育成を目指し、教職員が勤務時間を意識しつつ、協働性と同僚性を大切にしながら互いに高め合える学校経営の推進

（2）学習指導

- ・学校課題「自分の考えをもち、筋道を立てて表現できる児童の育成～基礎的・基本的な知識・技能の定着を基盤として～」

○・学びに向かう児童集団の育成（上河内地域学校園「学力向上アクション6プラン」の推進）

（3）児童生徒指導

- ・相手の立場に立って考え、人とよりよく関わるができる児童の育成

○・基本的な生活習慣を身に付け、規範意識をもって行動する児童の育成

（4）健康（体力・保健・食育・安全）

- ・進んで体力の向上と健康の保持増進に取り組み、目標に向かって努力する児童の育成
- ・ICTを適切な場面で有効活用できる児童の育成

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

- ・互いに認め合い、相手の気持ちを考えて行動するやさしさ
- ・自分で考えて行動する自主性
- ・確実に基礎・基本を身に付ける力
- ・夢や目標及び自己実現のために、諦めずに粘り強く取り組めるたくましさ

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①やさしさとたくましさを育てる活動

- ・異年齢活動（◇収穫を祝う会 縦割班清掃 登下校班活動）
- ・スポーツタイム【投力（ボール投げ等）・持久力（持久走，縄跳び）・調整力（短縄，長縄）】
- ・道徳の時間の重視（体験活動との関連，資料の活用，授業展開の工夫）
- ・◇農園活動及び花壇整備等
- ・読書活動の推進（心に響く物語の勧め，図書ボランティアや教職員による読み聞かせ）

②やさしさと自主性を育てる児童会活動

- ・◇1年生を迎える会 収穫を祝う会 感謝の会 6年生を送る会
- ・人権週間やいじめゼロ月間への取組
- ・児童の主体性を大切にした代表委員会・委員会活動・クラブ活動

③ 確かな学力の向上を図る指導

- ・基礎学力の確実な定着
 - ⇒習熟度別学習　かがやきルームの活用
 - ⇒◇個に応じた習熟プリント
 - ⇒◇ぐんぐんタイム（朝の15分間）での反復練習（国語・算数）・A Iドリルの活用
 - ⇒家庭学習の習慣化（低・中・高学年に応じた家庭学習，自主学習の仕方の指導）
 - ⇒音読活動の推進
 - ⇒教科担任制の推進
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の展開
 - ⇒宇都宮モデル（はつきり　じっくり　すっきり）の徹底
 - ⇒1人1台端末の効果的な活用

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり

（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

- ・第2次宇都宮市学校教育推進後期計画の基本目標4「地域とともにある学校づくりを進める」の目指す姿及びうつのみや学校マネジメント全体アンケートの結果を踏まえ、学校から地域に積極的に情報発信を行うと共に、様々な機会地域での学校支援ボランティアを活用するなど、地域に開かれた学校経営を推進する。

②主な取組

- ・学校支援ボランティア，保護者及び地域人材の活用
 - ⇒田植え，稲刈り，野菜づくり，収穫を祝う会，運動会，総合的な学習の時間，宇都宮学
 - ⇒環境整備（校庭除草，校内清掃），児童への読み聞かせ活動，登下校の見守り等
- ・各種「たより」やホームページによる情報発信

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・「かしこく，たくましいゆずっ子の育成」～基本を身に付け，人とつながり，夢に向かって生きる子どもを育てよう～を教育ビジョンに掲げ，特に読み書き計算の基礎基本を徹底し，コミュニケーション能力を向上させることを重点目標として，地域学校園全体で教育活動を推進していく。

②主な取組

- ・学力向上部会：上河内地域学校園「学力向上アクション6プラン」の推進
- ・学校生活適応部会：地域と協力したあいさつ運動の継続
- ・健康・体力・食育部会：歯科保健指導，メディアコントロール，持久力向上，地域の特色を生かした食育の取組

- ・交流連携促進部会：小中の交流活動の推進，一人職種の連携

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・「学級担任・学校が必ず行う組織的な不登校対策の取組について（第3版）」に示されている基本的な考え方に則り，子どもに寄り添った対応を学校全体で行っていく。

②主な取組

- ・Q-Uの有効活用（3年生～6年生：年2回）
- ・教育相談週間の定期的な設定
- ・ケース会議の適宜開催
- ・教育センター，医療機関，通級指導教室，SC等との適切な連携
- ・別室の個に応じた有効活用

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

- ・1人1台端末の効果的な活用を推進することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

②主な取組

- ・デジタルシティズンシップ教育の推進
- ・スクールタクト等を利用した協働学習の推進
- ・AIドリル等を活用した個別最適な学びの推進
- ・プログラミング学習の充実
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた職員研修の充実

(5) 宇都宮学

①基本的考え

- ・郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて理解を深め，郷土愛の醸成を図る。

②主な取組

- ・宇都宮学副読本や映像教材等を活用した，児童の興味関心を高める指導
- ・遠足，校外学習による体験的活動の充実
- ・地域の伝統的な行事及び活動への積極的な参加
- ・1人1台端末を活用した宇都宮の自慢の発信
- ・食育との連携
- ・市出前講座や地域人材の積極的な活用